



令和6年3月28日

岩倉市議会

議長 関戸 郁文 様

会派名 自由クラブ

代表者名 大野 慎治

研修受講報告書

このことについて、下記のとおり受講しましたので報告いたします。

記

- 1 実施日 令和5年10月4日(水)
- 2 研修先 桑名市
- 3 出席人数及び氏名

2名	大野 慎治	日比野 走

- 4 復命事項

別紙のとおり

育休退園の廃止について（令和4年4月から廃止）

子ども未来部 子ども未来課 保育支援室 室長 高木 茂
子ども未来部 子ども未来課 保育支援室 主幹 日置 昌子

○育休退園とは

育児休業を取得した場合、休業期間中は「家庭での保育が可能」との判断から、保育所（園）等に預けている上の子どもが退園となる制度。

○育休退園の現状

- ◎0歳から2歳児クラス 原則退園
- ◎3歳から5歳児クラス 継続利用可能

○経緯

共働き世帯の増加や核家族化の影響等により、本市の保育ニーズも高い保育ニーズで推移しており、待機児童対策の一環から、育児休業取得の場合は、3歳児未満児については、退園となっていた。保護者からの育児ニーズと育休退園により環境の変化に子どもが不安定になることなどから育休退園についての検討は行っていた。近年、児童数が減少傾向であることと令和4年4月から、新たに福祉ビレッジ内に保育園（定員90名）が新設されることで施設的に余裕ができたことから、実施できるようになった。（広報令和4年1月6日 市長記者会見にて）

○実施概要

令和4年4月1日より、対象児童数については年間平均40人で全ての年齢で継続保育できるようになった。育休退園の通年事案年平均40件程度

保護者としてのメリットは、復園時に再度、保育園等を探すこと、それに伴う悩み・ストレスがなくなること。

行政側としてのメリットは、育休退園に伴う入園後の調査、聞き取り、申出手続きがなくなること。

担当課としては、毎年、保育士確保の課題が残っている。四日市市などが取り組んでいる、3年継続している保育士に対しての報奨金支給なども検討する必要があると考えている。保育全般の施策はまずは保育士を確保できてから始めるべきであると思っている。

所感

育休退園の廃止は、保護者の切実なニーズであるため、大変参考になった。本市においても、保護者のニーズに応えるために、部屋の確保、保育士の確保をし、育休退園の廃止に向けて取り組んでいきたい。桑名市は先進的な取組も多いため、今後も注目して勉強していきたい。

・研修費用

交通費 岩倉～名鉄名古屋 360円

近鉄名古屋～桑名 530円

桑名～岩倉 890円

890円×2×2名=3,560円

研修費 2,000円×2名=4,000円